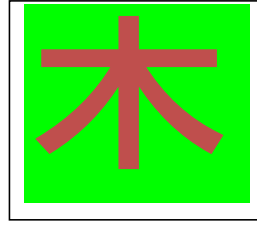


1 漢字の部首の指導について (3年)

【板書事項】

表(イラスト・色を工夫する)



裏(部首名・漢字の例)

き・きへん
 松村橋柱林
 株桜植横桃
 校案巢根楽
 未末枝

部首カードの使い方

教室に掲示
 フラッシュカード
 新出漢字の学習で
 カルタ遊び
 など工夫下さい

【指導の流れ】

- 1 部首カードのねらいと作り方を知らせる。
 「今日は、「部首カード」を作りましょう。いろいろな部首の名前や特徴が分かると、漢字が覚えやすくなりますね。作り方は次のようにします。」
- 2 表に部首を大きく書く。その部首に共通する意味を絵や字で付け加える。
 裏に部首の名前と、その部首が含まれた漢字を書く。分かりやすくするために、部首の部分を色分けする。
- 3 分担して部首カードを作らせる。
 「それでは、作業を始めます。見やすくていいに書くよう心がけましょう。」
 出来上がったものから順次黒板に貼らせていく。
- 3 感想を交流させる。
 「今日の感想を隣の人と発表し合いましたよ。」

【留意点】

- 1 部首カードの見本を提示する。B5サイズ程度の大きさの画用紙を使うと、作業や掲示がしやすい。表には、その部首のイメージを絵や色で表すなどして、見る人を引き付けるカードを作るよう意欲付けを図る。裏には、その部首が含まれた漢字を書く。できるだけたくさん書かせるのがポイント。
- 2 教師があらかじめ、学級の人数分以上の部首を選んでおき、その中から決めさせると効率的である。何人かの作品を紹介したり、作業が終わった児童はもう一枚作るよう声掛けしたりして、意欲を高める。
- 3 オリジナルのカードがたくさんできあがったことへの満足感をもたせたい。